地域共生推進室始動

農的生活プロジェクトから地域共生推進室へ組織化

少子化による人口減少に伴い後継者不足で田畑が休耕し、地域の食糧自給や山間農村部の景観が損なわれてる。またコロナ禍において食糧難が危惧される中、3月21日付けで農的生活プロジェクトが始動。幾つかの事業を立ち上げながら実験を進め、今後の活動拡大を含め、9月21日付けで『**地域共生推進室**』に組織化された。

農エー体

右からKOA支援伊藤さん、原田さん
伊藤（博）さん、村松さん、原顧問

今年実験を進めました事業と背景を紹介します。

1. 稲作事業
【白毛餅米の栽培】
白毛餅米は上伊那で生産される「秘伝の味」で藁細工にも適しているが栽培者が減少。

2. 薬草事業
【センブリ栽培】
木曽にある長野県製薬（百草丸製造）の薬草は中国からの輸入に頼っており国産化が急務

3. 夏野菜の提供
社員の安全安心に向け夏野菜のおせんしょ市場への無料提供

4. 藁細工事業
白毛餅栽培に沿って藁細工工芸の伝承を開始。

5. マスク製造事業
【サージカルマスク】
地域社会の安心安全に向け阿南町、泰阜村から支援を頂きながらマスクの生産を開始。

持続可能な開発目標を常に意識しながら活動を展開して行く。

地域共生推進室　発行
【1号】
2020年10月30日発行

ご意見・質問は下記のメールまでどんどん寄せください。採用された方には旬の野菜をプレゼント！
mail；
ta-hara@koaglobal.com

白毛餅栽培

4月8日に田んぼ作りを開始。上伊那地区に古代から伝わる白毛餅米の栽培は初めての事であり、農業経験のあるメンバーも未来いいじま㈱（飯島町）からご指導を受けながら栽培を始める。通常の稲より茎が長いので、雨風に倒れない様に工夫しながら田植えや肥料蒔きをして、成長を気にしながら育ててきた。

今年の白毛餅の収穫量は目標を少し上回り7俵収穫出来ました。

センブリ栽培

日本の生薬の原料である薬草の9割は中国からの輸入に頼っている。中国では経済成長に伴い健康ブームや環境保全の為、薬草の輸出が制限されてきており今後日本への供給減少が懸念され日本の製薬メーカー存亡の危機にもなっている。また、薬事法の国際標準化に伴い原産国の製造過程のトレーサビリティが厳しくなり中国産が使えない方向に国際ルールも変わる事が懸念されている。そこで日本の国策として薬草栽培のメイドインジャパンが急がれている中で、我々は長野県製薬（木曽町）と共同でクラインガルデン新野で薬草の一つであるセンブリの栽培をする事になった。センブリは2年草であり今年3月に種まきを行い来年10月に収穫を行う予定。

今年一番大変だった事は、雑草に畑を覆われる中、小さなセンブリの芽を守る為にハサミで2週間に一度雑草を除去する作業。雑草は切っても切ってもすごいスピードでセンブリの畑を覆ってしまう。

来年の作付けには雑草対策が必要であり、メンバーで雑草ゼロを目指して知恵を絞っています。

おせんしょ市場へ

今年は長雨の影響で野菜の生育に大きなダメージを受けた。ニュースでは野菜の値段高騰が連日報道され、購入を控える場面があった今年の夏でした。

農的生活プロジェクトの一環として社員の皆様に夏野菜の供給を行いました。初めて作る野菜もあり、試行錯誤しましたが、野菜はおいしく家族の食卓に届きましたでしょうか？

現在は冬野菜のキャベツ、白菜、野沢菜、大根、落花生等を栽培します。不定期提供で数に限りがありますが、出来次第おせんしょ市場へ出荷する予定となっています。

乞うご期待ください！

冬野菜栽培中

品名	苗の本数
キャベツ	16
白菜	16
野沢菜	200
大根	30
落花生	12
さつまいも	8

品名	苗の本数	収穫量
パプリカ赤色	5	128個
シシトウ	3	870本
オクラ	3	114本
キャベツ	7	2個
トマト	9	1,671個

夏野菜収穫実績

品名	苗の本数	収穫量
トウモロコシ	930	813本
キュウリ	20	875本
ナス	25	687個
丸ナス	2	29個
ピーマン	10	1,041個
パプリカ黄色	5	120個

マスク製造開始

新型コロナウイルス感染拡大でマスクの需要が増える中で、阿南町、泰阜村から補助を受けて、地域住民に安全なマスクを安定供給することも目的に、10月1日より不織布マスクの生産を開始しました。設備の生産能力は1日1万枚で、タイプ替えにて大人用と子供用を生産。製品箱のデザインには、阿南町新野の盆踊りや泰阜村南山の樽木踊りなど地元の行事や名所の写真を使用してあります。すでに阿南町、泰阜村には大人用マスクを、2，800世帯に向け50枚ずつ無償提供しました。また11月には子供用マスクの生産に切り替え順次提供していきます。

村澤さん　　佐々木さん

藁細工事業

伊那谷の藁細工を担っている農家のお百姓さんが高齢化を迎え藁細工の伝承が途絶えてしまう危機が迫っている。

そこで飯島町にある未来いいじま㈱と一緒に藁細工の技を後継する事になった。

今年の5月19日から2ヵ月間で（写真㊧から）佐々木さん・中勝又さん・中村さんが未来いいじま㈱で藁細工の研修を受け、現在旦開工房で藁細工職人として活動中。

10月に初めて桟俵（さんだわら）四百個の受注を頂き10月28日に無事納品。

今後は、しめ縄飾りの製作を計画しています。

ニャーン

しめ縄飾り

社員向けにしめ縄飾りの注文を取りますので、宜しくお願い致します。後日注文書を発行する予定です。

門松

今年は地域共生推進室より門松を作成する予定です。

来年は明るい年になる様に心を込めて製作します。

お願い

飯田下伊那特産の市田柿で休耕になっている場所がありましたらご紹介頂きたく、地域共生推進室まで一報ください。

Facebook

Facebook始めました。日々の活動の記録を写真や動画でUPしています。右のQRコードから見て下さい。